

広報
TAGAWA

たがわ

栄光は、諦めない先にある。

6月5日、後藤寺中学校で「あすチャレ!スクール」が開かれました。この催しは、日本財団パラリンピックサポートセンターが主催するパラスポーツ体験型の授業で、体験を通して子どもたちの意識を変え、行動（明日へのチャレンジ）につなげることを目指しています。県内での実施は初で、同校が「生徒に夢や感動を伝えたい」との思いで開催を呼びかけて実現しました。この日は、ソウルからリオデジャネイロまでの通算7大会のパラリンピックに出場した、車いす陸上の銅メダリストである永尾嘉章さんが来校。全校生徒172人の前でプロの走りを披露したほか、人生を振り返りながら「諦めないこと」の大切さを生徒たちに伝えました。車いすの体験イベント「車いすリレー」でアンカーを務めた戸須慶人さん(3年)は「車いすの操作は予想以上に難しかった。スポーツで活躍している人はすごいと思う。僕はサッカーをしているので、諦めない心をもって続けたい」と話しました。



7/15

平成30年7月15日
(2018年)

NO.1483